

「北見市安全安心の地域づくり推進協議会」会議録

日時 平成31年3月28日（木）午後6:30～7:30

会場 市役所北2条仮庁舎 3階庁議室

◎出席者

・委員

金田委員、河野委員、金木委員、遠藤委員、佐々木委員、菅田委員、上川委員、多田委員、高橋委員

・事務局

佐野市民環境部長、井上市民環境部次長、石原市民活動課長、長谷川市民生活課長、大越市民活動係長、楨森、白石

1. 開会

2. 委嘱状の交付

辻市長から委員へ委嘱状交付

3. 市長挨拶

（挨拶後市長退席）

4. 議事

事務局 それでは委嘱式に引き続き、協議会を開催させていただきます。

私、この会の事務局長の石原でございます。役員決定までの間、進行を努めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

なお、本日から、はじめて委嘱された方もいらっしゃいますので、皆様改めて、自己紹介をお願いいたします。それでは、北見地域防犯協会の金田会長、そのあとは留辺蘂地域防犯協会の河野会長の順番をお願いいたします。続いて事務局職員が自己紹介いたします。

北見地域防犯協会 → 留辺蘂地域防犯協会 → 北見地域暴力追放推進協議会
→ 北見市北見自治会連合会 → 北見市交通安全協会 → 北見警察署交通課
→ 北見消費者協会 → 北見北西地域「安心、安全な地域」づくりの会 →
公募委員 → 事務局の順に自己紹介

事務局 ありがとうございました。なお、本日の協議会の議事録を市のホームページに公表することとなっております。議事録はご発言の一字一句を掲載するものではなく、その発言の意図するところを適切な文章としまして作成いたします。従いまして、委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見を頂戴したいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

議題（1）正副会長の選任について

事務局 それでは議題第1号、「正副会長の選任」についてであります。会長、副会長を選

出したいと思います。どなたか会長、副会長に立候補される方はいらっしゃいますか。また、どなたかご意見等はございませんか。

ないようですので、事務局（案）を示させていただいてもよろしいでしょうか。

（全員了承）

事務局 事務局案としましては、当協議会の会長には、北見地域防犯協会 会長の金田様に、また、副会長は北見地域暴力追放推進協議会 副会長の金木様をお願いしたいと考えておりますが、ご意見はございませんでしょうか。

（全員了承）

事務局 それではここからの議事進行につきましては、承認いただいた設置要綱第6条・第1項の規定で、会長が議長を務めることになっておりますので、ここからは金田会長に議長をお願いいたします。

それでは、金田会長より一言ご挨拶いただいてから、議事に入りたいと思います。金田会長、お願いいたします。

＜会長挨拶＞

議題（2）平成30年度事業結果について

会長 それでは「議案第2号 平成30年度事業結果」について、事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは「議題（2）平成30年度事業結果」につきましてご説明させていただきます。

まず、お手元の資料「議題（2）」をご覧ください。平成30年5月9日に北見市民会館の小ホールで「春の地域安全運動『平成30年春 犯罪のない安全安心北見ミント大会』」を共催して行いました。内容といたしましては、北海道博物館の三浦泰之氏による基調講演を行いました。また、平成30年10月11日に端野町公民館グリーンホールで「全国地域安全運動『平成30年秋 犯罪のない安全安心北見ミント大会』」を共催して行いました。内容といたしましては、平成30年度全国防犯功労者表彰の伝達式、防犯ボランティア団体等による活動発表、高校生ボランティアの活動紹介などが行われました。

次に、「安全安心アカデミー（実践者実務研修）の開催」といたしまして、平成31年1月19日にサンライフ北見におきまして「防犯パトロールに参加してみませんか」というテーマで北見警察署生活安全課の和泉係長に講師となっていただき、市内の防犯活動団体や、町内会の防犯活動担当者、又、これから防犯活動パトロールを始めたい方を対象に防犯パトロールの取り組み方法や心構えについての講習会を行いました。今回は青色回転灯装備車でのパトロール実施者更新講習を兼ねていたため、参加人数は60名となっております。

啓発事業につきましては、「防犯標語イカのおすしを『広報きたみ1月号』で周知」しました。資料1として、広報きたみ1月号の記事を添付しております。こちらは、子どもが犯罪に巻き込まれないための約束事をまとめた標語になります。北見地区防

犯協会使用キャラクターのイラストと一緒に掲載させていただきました。あわせて、青色防犯パトロール用のマグネットや交通安全の手旗を配付していること、「安全安心アカデミー」の開催についてもお知らせしたところでございます。

最後に、「防犯啓発資材の購入及び配布」につきまして、防犯を呼びかけるのぼり旗を購入し、北見市内の小中学校及び児童館に配布いたしました。購入数は80セット 小学校24校に各2セット、中学校14校に各1セット、児童館16館に各1セット配布し正門等にのぼり旗を設置していただきました。交通安全の手旗につきましては、79本購入し、希望者10団体に40本配布いたしました。手旗につきましては、広報きたみやホームページの周知だけでは足りないと感じておりますので、今後につきましては、町内会等が集まります行事などに持参しPRしていきたいと考えております。

「議題(2) 平成30年度事業結果」につきましては以上でございます。

会長 それでは、「議案2号 平成30年度事業結果」を事務局よりご説明いたしました。それではご協議いただきたいと思っております。ご意見、ご質問がありましたら挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。結果ですので、これでよろしいですか。
(全員了承)

議題(3) 平成31年度事業計画(案)について

会長 それでは、つづきまして「議案第3号 平成31年度事業計画(案)」について、事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは「議題(3) 平成31年度事業計画(案)」につきましてご説明させていただきます。

「(1) 全国地域安全運動『犯罪のない安全安心北見ミント大会』への共催」といたしまして、平成31年度も、例年春と秋に行われている、北見警察署主催の大会を共催したいと考えております。

また、「(2) 安全安心アカデミー(実践者実務研修)の開催」につきましては、1月に開催いたしました「安全安心アカデミー」を防犯活動団体や町内会の防犯活動担当者等に対し、北見警察署のご協力をいただきながら、引き続き研修等を行いたいと考えています。また、青色防犯パトロールのパトロール実施者の更新講習会としても開催していきたいと考えております。テーマにつきましては今後警察署と協議させていただきながら検討していきたいと思っております。

次に「(3) 『広報きたみ』への記事掲載」ですが、平成31年度につきましても広報きたみで1頁の特集記事を掲載しまして、啓発活動を行っていききたいと思っております。記事の内容につきましては、現段階では「ほくとくん防犯メール」の記事を掲載したいと考えております。

最後に、「(4) 啓発物品の購入」では、啓発に係る消耗品の購入といたしまして、のぼり旗と交通安全の手旗の購入を考えております。

「議題(3) 平成31年度事業計画(案)」につきましては以上でございます。

会長 それでは、ただ今ご説明いたしました事業計画(案)について、ご協議いただきたいと思っております。ご意見、ご質問がありましたら挙手をお願いいたします。

A委員 この会自体は直接的な予算は持っていません。市の担当部局の予算を回すという形

になると思います。予算が少なく、旗を立てるくらいの予算しかないと思いますが、今年度の実績と来年度のおおまかな予算を教えてください。大体、全部で 30 万円くらいですか。

事務局 そうです。それくらいです。昨年と予算的には変わらないのですが、来年度も手旗 100 本とのぼり旗 90 枚を購入させていただくという予算となっております。

事務局 この会はそれぞれの会の代表の方が集まってそうそうたる顔ぶれの会です。そのそれぞれの活動団体の方に予算が配分されていて、それぞれの活動団体がそこでしっかり予算を持っていてくれるので、あえてこの会に大きな予算がついていないという一面もあります。ただ、この会自体で事業がしっかりできていけないというのは私共も課題として考えております。せっかくこういうメンバーが集まっていますので、横串を刺したような動きがとれる。例えば全体で情報が共有されて、それをしっかりと伝えられるような広報の面でもそうですし、やはりそういう動きは必要ではないかと考えています。

会 長 他にご意見はありませんか。

B 委員 私は前日も委嘱をいただいて、今回 2 回目になります。当初はこの協議会については安心安全ということだけで、漠然としていました。1 回目の委嘱の時は、今、ここで事業報告のあったような活動であったと思います。留辺薬の委員の方からもう少し違う形のものがあったら良いのではないかとというニュアンスのご意見がありました。私も同感で、ここに役職をつけた面々たる人達の名前の載っている組織の中で、先程、予算が 30 万円ほどの中でやっているのは分かるのですが、これの使い道というのは「のぼり旗を買いました」「手旗を作りました」ということですが、そうではなくて、安全安心であれば、4 月 8 日に入学式が北見市内であります。その新入生の子ども達の命を守る。例えば、あえて大人が子どもに声を掛けて不安心をあおるといふか子どもに警戒心呼び起こさせる行動をとる。こういう旗やのぼり旗で防ぐというのも可能なのですが、現場に出て見守る。大人の目線で見守るといふのもお金はかからないと思います。そういう活動をできないものかと私は思います。私は 13 年間、上ところで町内会長をやってきて、常日頃 2017 年度の新聞記事をいつも持っているのですが、これは「平成 12 年から 16 年までの 5 年間で小学校の子ども達が事故にあったことが」ということが、北海道新聞から出ていました。小学校 1 年生から中学校 3 年生までの学年の人達が交通事故に遭っているのかというと、事故の中の 7 割が小学校 1 年生です。自転車事故は高校 1 年生が 1 番です。2 番目は 65 歳以上の高齢者の巻き込まれ事故。そういう中で言うと、小学校 1 年生の事故・高校 1 年生の事故というのは、どちらも自分達の生活環境が変って新しいステップに上がった時の慣れない時の事故なのです。せっかく去年「ありがとう」というこの手旗を我々の組織で作ったのであれば、我々もこの旗を持って街頭啓発をした方が良いのではないかと思います。どうでしょうか。

会 長 貴重なご意見ですね。実は我々の防犯協会も、それぞれの地域に防犯協会がありまして、それぞれの地域での防犯協会としての様々な活動、子ども達の見守り等を行っているのも事実です。ただ、いかにこの横串を通した中でどういったところで補完できない部分があるのだろうかというところが、その取りまとめをこの協議会でも考

えていくところがあるのではないかと私も思います。この間、「安全安心アカデミー」というのがありまして、警察の和泉係長さんがおっしゃっていたのですが、要は我々自治会も含めて、町内会の中でどれだけ、子ども達の見守り活動が、自然な形の中でできないだろうかということで、例えば、お年寄りがお散歩がてら腕章を付けて見守りをする。自然な形で見守りができる。というお話をいただいた時に「なるほどな」と、我々地域住民の一人として、これは意識として持っていかなければいけないのかなと、その時は本当に勉強させていただきました。そういった活動をそれぞれがやっていますが、そこで情報を共有した中で、確認をしていくということが、大事なのかなという風に思います。本当に貴重なご意見をありがとうございます。

B委員 それから、今年の事業計画（案）にもある「安全安心アカデミー」のことですが、青色回転灯パトロール実施者の講習も兼ねるということで、1回目の公募委員になった時に「青色回転灯」を取得したくて、応募した訳なのですが、1年目の時は許可を得られませんでした。それで私はこの委嘱状を北見警察署に持っていき、こういうボランティアをやっていると言ったのですが、それと北海道警察が交付しているものとは少し違うということでした。今年、青色回転灯は防犯活動の中で委嘱状が無くても交付できると文言が要綱に入ったので、それでやっと許可をもらえました。私たち地域の者からしたらこういった活動をしていたら、すんなりいくのかなと思いましたがそうではありませんでした。それで、この協議会とリンクしてもらえないかなと思います。

C委員 生活安全課がそう言ったのですか。初めて聞きました。

会 長 そのところは警察の方に確認をさせてもらわないとなりませんが、これはこの協議会とは別のところの話になりますので、そこは確認させてください。

事務局 市としても一緒に防犯協会と確認させていただきます。

B委員 これでは青色回転灯をつけてパトロールしようとする人も中々増えていかないと思うので、それを共有していただければと思います。地域の人達が活動しやすい組織になれば嬉しいと思います。

会 長 そういう意味では、この協議会の色々なご意見をいただくのは、逆に、我々防犯協会としてはどうするかという問題にもなっていくのでありがたいことです。

それでは、皆様のご協力のおかげで、議題として上がったものは以上で終わりましたが、「その他」として何か事務局の方からありますか。なければ本日の協議会を終了させていただきたいと思います。議長の任をとかせていただきます。本日はありがとうございました。

事務局 以上を持ちまして、北見市安全安心の地域づくり推進協議会を終了いたします。本日は、大変お忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございました。